



2021年5月21日

各 位

会 社 名 株式会社芝浦電子
 代 表 者 名 代表取締役社長社長執行役員 葛西 晃
 (コード番号 6957 JASDAQ)
 問 合 せ 先 常務取締役常務執行役員 細井 和郎
 経営管理本部長
 電 話 番 号 048-615-4000

中期経営計画（2021年度-2023年度）策定のお知らせ

当社は、「われわれは、地球環境を守り、世界の人々の笑顔あふれる暮らしの向上と文化の発展に貢献する」という企業目的のもと、継続的な企業価値の向上を目指し、2021年5月21日開催の取締役会において「中期経営計画 Sense the Dynamics 2021年度-2023年度」を策定、決議しましたので、お知らせします。

記

<中期経営計画 Sense the Dynamics 2021年度-2023年度の概要>

1. 中期経営計画方針

- (1) 品質・生産性向上
 - ・ 製造工程の効率化
 - ・ グローバル調達
 - ・ 品質保証
- (2) 製品開発
 - ・ 小型・薄型・高耐圧製品
 - ・ 高温センサの新ニーズ開拓
 - ・ オートモーティブ推進 ハイブリッド車、電気自動車など環境対応車の普及に対応
- (3) 人財育成・ガバナンス強化
 - ・ 多様な働き方に対応、ダイバーシティ推進
 - ・ コーポレートガバナンスコード改訂に適切に対応

2. 事業分野

事業分野として従来の素子、自動車、家電、空調、住設機器、OA、産業機器の区分を、ホームアプライアンス、オートモーティブ、インダストリアルの3分野に再編します。

ホームアプライアンス	従来の空調、家電、住設機器及び素子のうちのこれらの用途
オートモーティブ	従来の自動車及び素子のうちの自動車
インダストリアル	従来のOA、産業機器及び素子のうちのこれらの用途

3. 財務目標

成長の持続性、収益力強化、資産効率を重視した経営を目指し、売上高、売上高営業利益率、自己資本当期純利益率（ROE）を財務目標とします。

(単位 金額：百万円)

	2021年度	2022年度	2023年度
売上高	28,500	31,500	35,000
売上高営業利益率	14.4%	16%以上	18%以上
ROE	10%	12%以上	13%以上

4. 設備投資・配当方針

- (1) 設備投資 事業拡大のための積極的な設備投資を継続
 (2) 配当方針 十分な自己資本を維持しつつ、長期にわたって安定的、継続的に配当を実施

5. ESGの取り組み

	これまでの取り組み	これからの取り組み
環境	<ul style="list-style-type: none"> 環境規制に遵守した製品の開発 ISO14001の取得 CO2排出削減の取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ホームアプライアンス、オートモティブ等、環境対応関連分野推進
社会	<ul style="list-style-type: none"> 一般事業主行動計画の策定および実施 大学との産学共同研究 自然災害被災地域でのボランティア活動 	<ul style="list-style-type: none"> ダイバーシティ推進 グローバル人材の育成 地域社会との連携
ガバナンス	<ul style="list-style-type: none"> 独立社外取締役割合見直し 役員報酬制度見直し 	<ul style="list-style-type: none"> 改訂コーポレートガバナンスコードに求められるガバナンスの徹底 情報開示、ステークホルダーとの対話充実

※ 上記の計画及び目標は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる結果となることがあります。

<添付資料>

中期経営計画 Sense the Dynamics 2021年度-2023年度説明資料

以 上


株式会社芝浦電子 中期経営計画 Sense the Dynamics

2021年度 – 2023年度

2021年5月21日

中期経営計画 目次

項目	ページ
企業目的	2
中期経営計画 Sense the Dynamics 概要	3
財務目標	4
事業分野	5
用途別売上高目標	6
基本方針 1. 品質・生産性向上	7
基本方針 2. 製品開発 ① 製品開発方針	8
② オートモーティブ推進	9
基本方針 3. 人材育成・ガバナンス強化	10
産学連携	11
設備投資・配当方針	12
芝浦電子におけるESGの取り組み	13
ご参考資料	14



われわれは、
地球環境を守り、
世界の人々の
笑顔あふれる
暮らしの向上と
文化の発展に
貢献する

中期経営計画 Sense the Dynamics 概要

事業活動

【中期経営計画方針】

1. 品質・生産性向上
2. 製品開発
3. 人財育成・ガバナンス強化

【外部環境】

- 持続可能な社会への関心の高まり・SDGs
- 脱炭素化社会への移行
- デジタル技術革新

【当社の強み】

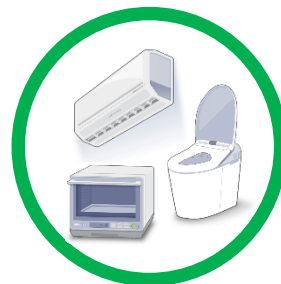
- 広範囲にわたる高度な独自の技術力
- 材料から生産設備まで独自の開発力
- 世界最大級の生産能力
- お客様のニーズに対応
- ガラスサーミスタのパイオニア

【財務基盤・収益力 2020年度実績】

- 連結自己資本 254億円 ・連結自己資本比率 68.2%
- 売上高営業利益率 12.5%
- フリーキャッシュ・フロー 34億円

事業分野

ホーム アプライアンス



オートモーティブ



インダストリアル



財務目標

2023年度

売上高
350億円

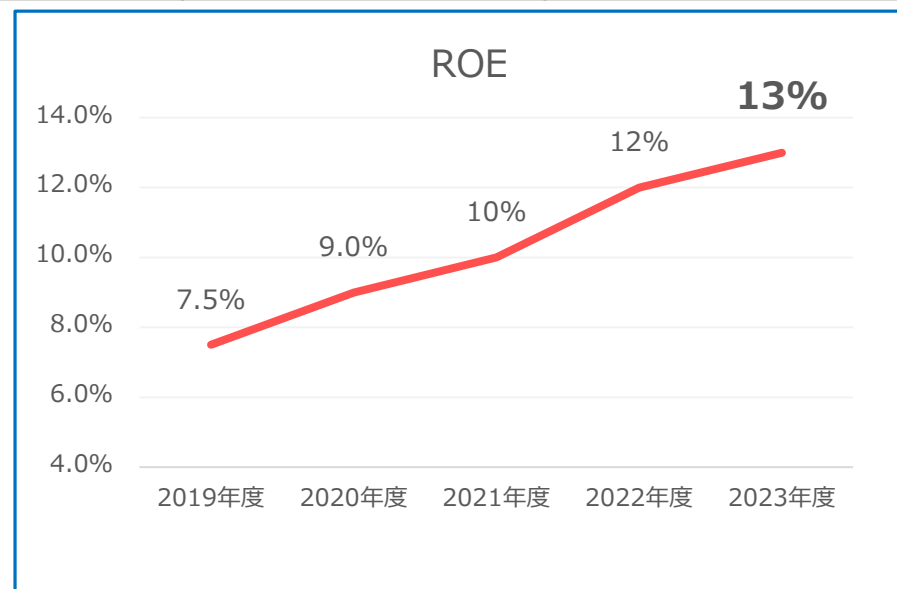
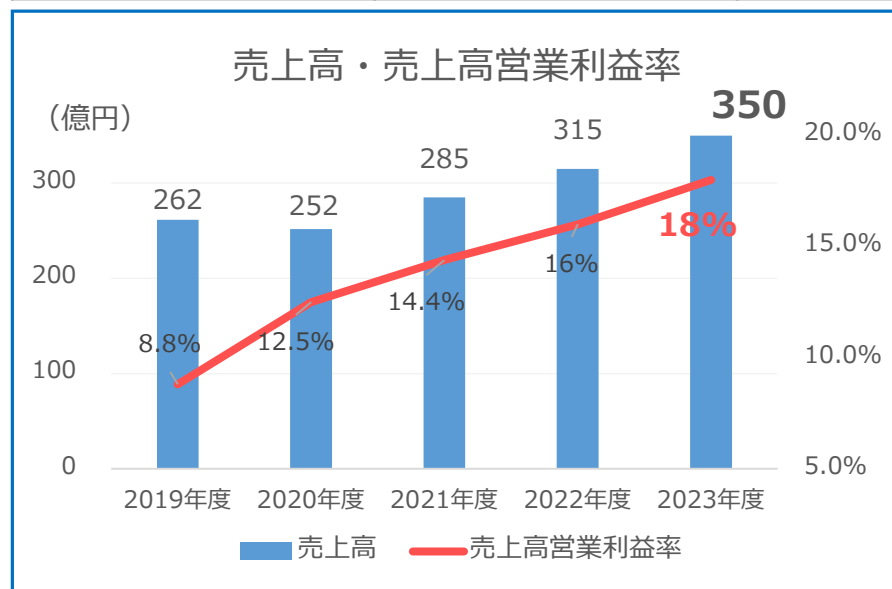
売上高
営業利益率
18%以上

ROE
13%以上

財務目標

(単位 金額：億円)

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
売上高	252	285	315	350
売上高 営業利益率	12.5%	14.4%	16%以上	18%以上
ROE	9.0%	10%	12%以上	13%以上



事業分野

ホームアプライアンス



◆注力する用途・品目

➤省エネ家電

- エアコン
- 電子レンジ
- 温水洗浄便座等

オートモーティブ



◆注力する用途・品目

➤環境対応車

- HV車・PHV車
- EV車・FCV車
- EV二輪車

インダストリアル



◆注力する用途・品目

- 産業用ロボット
- 業務用冷凍冷蔵庫
- ドローン等新規分野

SDGsへの取り組み

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



自動車や家電などの省エネ製品に使用されている当社製品の普及により、環境問題の解決に貢献します。

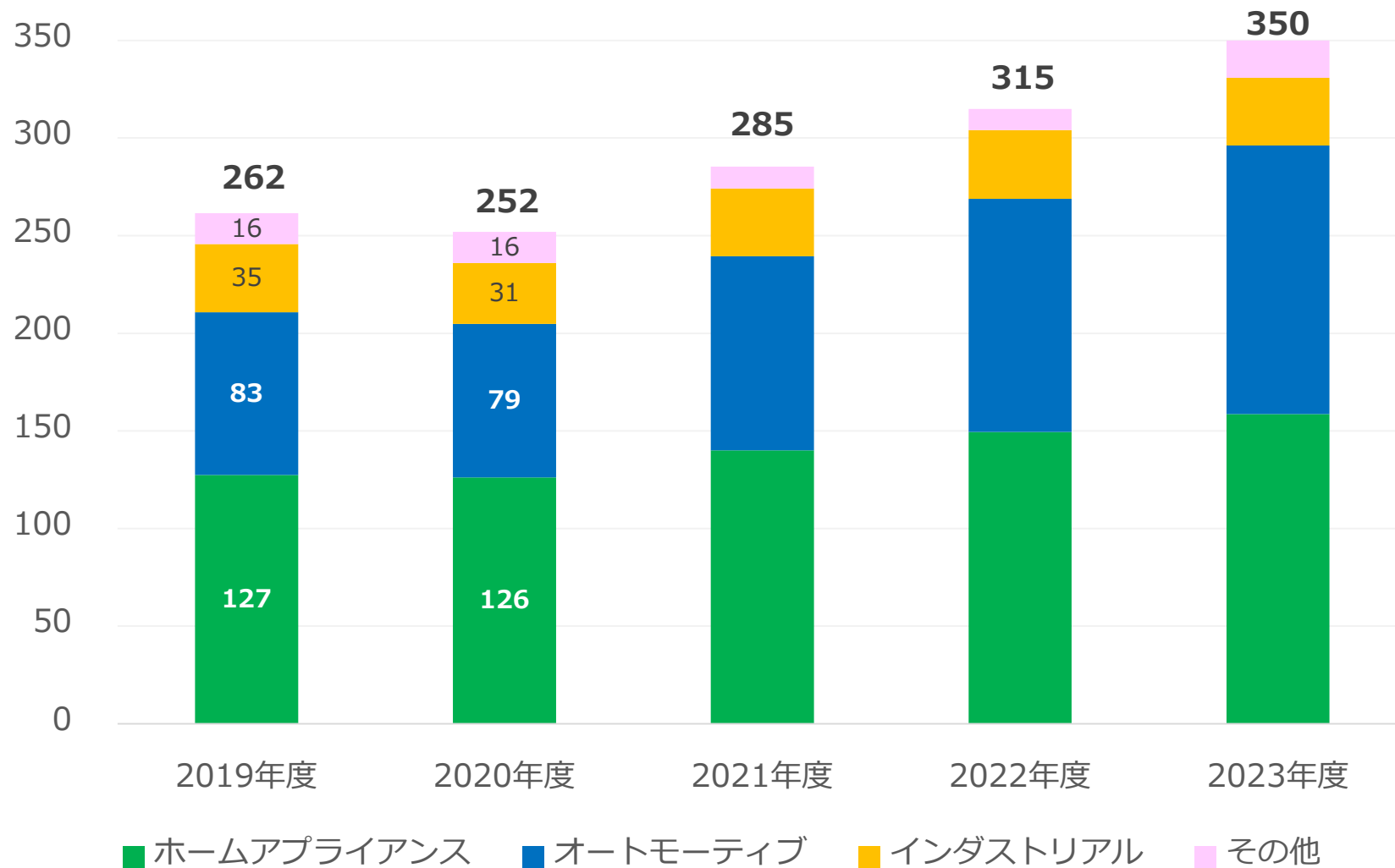
13 気候変動に
具体的な対策を



気候変動に対する各国の環境規制に順守した製品の開発・提供により、温室効果ガスの削減等、気候変動の抑制に貢献します。

用途別売上高目標

(金額単位：億円)



基本方針 1. 品質・生産性向上

製造工程の効率化

- 製造工程にIT技術(AI・ロボット)を有効活用し、品質と生産性の向上を図る
- 継続的な改善活動により、生産性の高い製造ラインを構築する

グローバル調達

- 海外のサプライヤーと連携し、資材調達コスト削減を図る
- 材料の現地調達を進め、リードタイムの短縮を図る

品質保証

- グローバル品質管理体制の確立

SDGsへの取り組み

9 産業と技術革新の基盤をつくろう



製造工程の自動化、AI化に積極的に取り組み、生産性及び品質の向上を図り、持続的な産業の発展に貢献します。

12 つくる責任 つかう責任



少ない資源で高精度・高い信頼性のある製品を生み出す製造方法を確立することで、持続可能な生産と消費の形態を確保します。

基本方針 2. 製品開発

① 製品開発方針

- 小型・薄型・高耐圧製品
- 小型大容量化の進む電動部品に「安全・安心・効率化」の提案
- 高温センサの新ニーズ開拓
- 医療分野の拡大、新医療機器への提案
- 計測温度域の広いワイドレンジ特性素子
- 自動化設備対応パッケージ（テーピング、エンボスキャリアテープ）

SDGsへの取り組み

9 産業と技術革新の
基盤をつくらう



製造工程の自動化、AI化に積極的に取り組み、生産性及び品質の向上を図ることにより持続的な産業の発展に貢献します。

17 パートナーシップで
目標を達成しよう



お客様、サプライヤー、大学等と協力し、より安全で、地球にやさしい製品を普及させ、社会環境の向上に貢献します。

基本方針 2. 製品開発

② オートモーティブ推進

➤ HV・EVなど環境対応車の普及に対応

製品開発

- ◆ 分野
 - ・ HV車・PHV車
 - ・ EV車・FCV車
 - ・ EV二輪車
- ◆ 品目
 - ・ モーター
 - ・ ジェネレーター
 - ・ バッテリー
 - ・ チャージャー

生産力拡大

- ◆ 工程改善
 - ・ 作業者の多能工化推進
 - ・ 自動加工機の製作・導入
- ◆ 製造体制の強化
 - ・ 海外工場での生産拡大

製品提案

- ◆ カスタマイズ
 - ・ 開発段階からお客様のニーズにお応えし、カスタマイズ製品を提案

SDGsへの取り組み

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



環境対応車などに使用されている当社製品の普及により、環境問題の解決に貢献します。

13 気候変動に
具体的な対策を



気候変動に対する各国の環境規制に順守した製品の開発・提供により、温室効果ガスの削減等、気候変動の抑制に貢献します。

基本方針 3. 人財育成・ガバナンス強化

人財育成

- 社員の成長やキャリア開発を支援し、主体性を持ち、挑戦する意欲の旺盛な社員を育成する
- 仕事のやり方を刷新し、多様な働き方に対応する
- ダイバーシティを進め、活躍の場を広げる

ガバナンス強化

- コーポレートガバナンス・コード改訂に適切に対応し、ガバナンスを強化する
- 積極的な情報開示に努め、透明性の高い経営を行う

SDGsへの取り組み

5 ジェンダー平等を実現しよう



全ての事業活動において男女差別を行わず、あらゆるハラスメントを防止し、全ての従業員が働きやすい環境を整えます。

10 人や国の不平等をなくそう



全ての事業活動において人種、信条、性別、年齢、社会的身分、障害の有無などの理由による差別をしないことを約束します。

サーミスタ素材形成技術の研究

- 薄膜
- MEMS

サーミスタ物性研究

- 機械特性解析
- 結晶構造解析

予測技術

- AI・ビッグデータ解析
- 破壊モード解析

生産システム

- 人員配置適正化

SDGsへの取り組み

17

パートナーシップで
目標を達成しよう



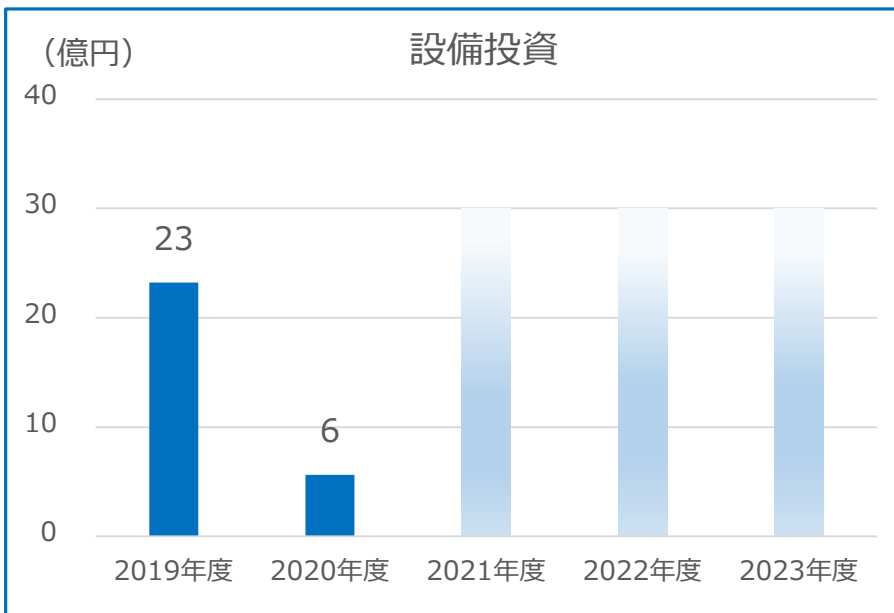
お客様、サプライヤー、大学等と協力し、より安全で、地球にやさしい製品を普及させ、社会環境の向上に貢献します。

企業価値最大化に向けた、投資と株主還元のバランス

中期経営計画2021年度-2023年度
税引後営業利益 + 減価償却費 = 160億円

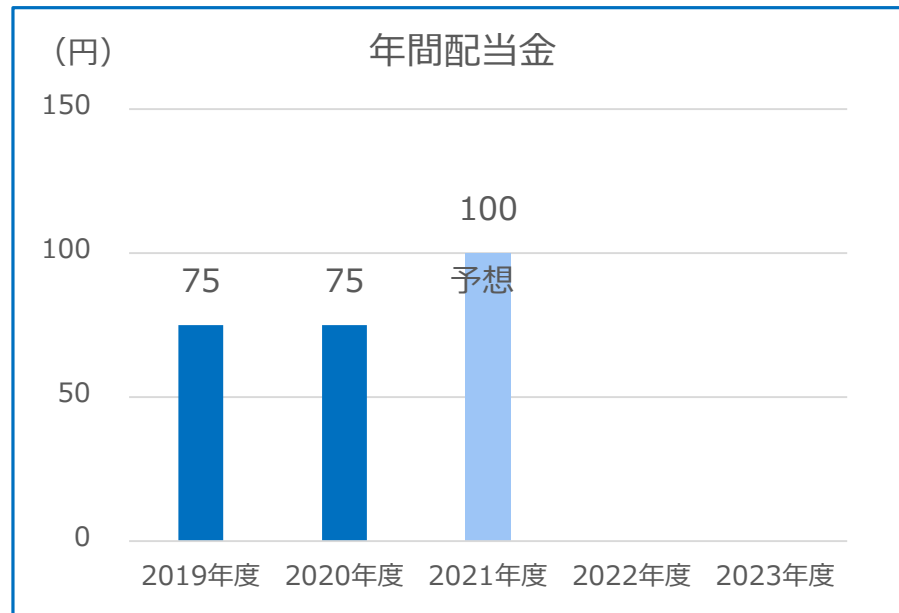
設備投資

- 事業拡大のため積極的な設備投資を継続



配当方針

- 十分な自己資本を維持しつつ、長期にわたって安定的、継続的に配当実施



芝浦電子におけるESGの取り組み

Environment 環境

Social 社会

Governance ガバナンス

社会的な課題

- 地球温暖化
- 環境規制強化
- 省エネルギー化

- 働きやすい環境整備
- 地域社会との共存
- ダイバーシティ

- ガバナンスの強化
- 経営の透明化
- 適切な情報開示

現在までの取り組み

- 環境規制に遵守した製品の開発
- ISO14001の取得
- CO2排出削減の取り組み

- 一般事業主行動計画の策定および実施
- 大学との産学共同研究
- 紛争鉱物への対応
- 自然災害被災地域でのボランティア活動

- 独立社外取締役割合見直し
- 役員報酬制度見直し

これからの取り組み

- ホームアプライアンス、オートモーティブ等、環境対応関連分野推進

- ダイバーシティの推進
- グローバル人財の育成
- 地域社会との連携

- 改訂コーポレートガバナンスコードに求められるガバナンスの徹底
- 情報開示、ステークホルダーとの対話充実

SDGs
関連する



ご参考資料

会社概要

社名	株式会社芝浦電子
創業	1953年3月3日
本社	埼玉県さいたま市中央区上落合
代表者	代表取締役社長 葛西 晃
事業内容	サーミスタ素子、並びにサーミスタ素子を応用した各種製品（温度センサ、湿度センサ、湿度計、温度制御器、風速計 等）
資本金	21億4千万円（2021年3月31日現在）
売上高	251億円（2021年3月期 / 連結）
経常利益	31億円（2021年3月期 / 連結）
製造拠点	国内5拠点、海外3拠点（タイ、中国）
従業員	4,544人（2021年3月末現在 / 連結）
上場証券取引所	東京証券取引所ジャスダックスタンダード市場 （証券コード：6957）
単元株式数	100株



芝浦電子本社

温度別用途

- 50℃から1,000℃まで。高付加価値を生むサーミスタ技術。



従来品

(ガラスコートサーミスタ)

高付加価値品

(高温用ガラスコートサーミスタ)

● 低温倉庫 (マグロ冷凍)



● 冷蔵庫



● エコキュート
● エアコン

● 給湯器



● 炊飯器
● 食器洗い乾燥機
● 自動車 (水温)

● 電子レンジ

● 自動車 (EV/EVモータ)



● 複写機

● エクッキングヒーター

● ファンヒーター

● 車 (EGR 温度制御)



● オープン

● 住設機器 (ガス炎制御)

● 車 (DPF 温度制御)



用途

将来見通しの記述に関する注意事項

- 本資料に掲載されている将来見通しの記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因の仮定を前提としています。
- 実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績に影響を与える要素には、経済情勢、原材料価格、製品の需給動向及び市況、為替レートなどが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- 本資料中の定量目標、参考値、投資額等は、あくまでビジョン、中期的戦略等を示すものであり業績予想ではありません。当社はこれらについて情報を更新する義務を負いません。
- 正式な業績予想は東京証券取引所規則に基づく決算短信での開示をご参照ください。

IRに関する連絡先

経営管理部：keieikanri@shibaura-e.co.jp



株式会社
会社

芝浦電子

